

全員喫食制の中学校給食への移行に向けた サウンディング型市場調査【令和4年8月】

－ 結果概要 －

本市では、生徒や保護者のニーズを踏まえて、全員喫食制の温かい中学校給食への移行に向けて取り組んでいます。

全員喫食制に必要な調理体制を確保する観点から、民間事業者の参入意向を広く調査・把握するため、令和3年4月に民間事業者へのサウンディング型市場調査を実施しましたが、社会情勢の影響により事業者を取り巻く環境が変化していることを踏まえ、あらためてサウンディング型市場調査を実施いたしました。

このたび、調査結果の概要について下記のとおり公表いたします。

1. 対象業務

民間事業者の調理施設（既設又は新設）で給食調理を行い、保温食缶に盛り付けたうえで各対象校に配送して給食を提供

2. スケジュール

- ・実施要領の公表 令和4年8月4日（木）
- ・サウンディングの申込期限 令和4年8月17日（水）
- ・サウンディングの実施期間 令和4年8月15日（月）～8月26日（金）

3. 参加事業者

- ・9社（うち市内事業者2社）

4. サウンディング結果の概要

- ・別紙のとおり

5. 今後の対応

サウンディング調査の実施により、各事業者の皆様から貴重なご意見をいただき、事業参入の意向や、課題などについて意見交換を行うことができました。

この調査結果を踏まえ、民間デリバリー方式の具体的な公募方法の検討を行うなど、引き続き全員喫食制への移行に向けた取り組みを進めてまいります。

サウンディング結果の概要

1. 提供可能食数見込み

- 提供可能食数見込み 約 16,500 食/日～約 19,000 食/日
※事業者による提供が可能と見込まれる食数の合計

〔参考〕 前回（令和3年4月）調査時
提供可能食数見込み 約 17,000 食/日～約 20,000 食/日

<主な意見等>

- ・既設の調理施設から概ね1時間以内で配送できる範囲が、提供可能エリアとなる。
- ・投資計画等との関係から、一定数以上の提供食数は確保したい。

2. 事業者決定から業務開始までに要する期間

<主な意見等>

- ・機械の増設等含め1年程度は最低でも必要である。
- ・工場の改修期間は、夏休み期間程度は必要である。
- ・工場の改修は2か月程度で可能だが、トラックの調達や人の雇用、開業準備を考えると、事業者決定から1年程度は必要である。
- ・新設工場を整備する場合は2～3年程度はかかる。
- ・車両の手配に時間がかかる。最近はドライバーも見つかりにくい。
- ・半導体不足により車両・冷却機器・加熱機器等の納期が遅れている。

3. 事業参入にあたっての課題・要望など

<主な意見等>

- ・設備投資を償却できる期間、安定した運営を維持するために、長期契約を希望する。
- ・設備投資があるため少なくとも5年の契約期間は必要である。
- ・安定的に業務を行ううえで、総価契約が望ましい。
- ・光熱費・人件費・その他消耗品費が高騰している。年度ごとに協議できるような契約内容を望む。
- ・契約期間が長期間の場合は社会情勢に沿った見直し時期を契約に盛り込んでほしい。
- ・残渣も価格に影響しており、喫食時間の延長や学校での食指導により、残渣を減らすことができれば廃棄コストを縮減できる。
- ・区ごとで区切るのではなく、一定の食数で区切って募集される方が参入しやすい。